

用言の活用 総合確認テスト（動詞・形容詞・形容動詞） 解答・解説

■ 解答・解説

- 問1 品詞＝動詞／活用の種類＝四段活用（カ行）／活用形＝已然形。「ば」が已然形に接続して「～ので」の順接確定条件を表す。
- 問2 四段活用（ラ行）・連体形。係助詞「ぞ」の結びで連体形になっている。
- 問3 品詞＝形容詞／活用の種類＝シク活用。「烈し（はげし）」はシク活用で、連用形が「烈しく」。
- 問4 品詞＝動詞／活用の種類＝下二段活用（カ行）／活用形＝連用形。「更く」の連用形「更け」＋接続助詞「て」。
- 問5 品詞＝形容動詞／活用の種類＝ナリ活用／活用形＝終止形。言い切りの形で文を結んでいる。
- 問6 品詞＝動詞／活用の種類＝カ行変格活用（カ変）／活用形＝未然形。打消の助動詞「ず」は未然形接続。カ変未然形は「来（こ）」。
- 問7 四段活用（ハ行）・連用形。過去の助動詞「き」の已然形「しか」に接続するため連用形。
- 問8 品詞＝形容動詞／活用の種類＝ナリ活用／活用形＝連体形。体言「庭」を修飾している。
- 問9 下二段活用（ヤ行）・終止形。「聞こゆ」は言い切りで終止形。
- 問10 品詞＝形容詞／活用の種類＝ク活用／活用形＝已然形。「深し」はク活用、已然形「深けれ」＋「ば」で順接確定条件。
- 問11 シク活用・終止形。「険し（けはし）」はシク活用で、言い切りの終止形。
- 問12 品詞＝動詞／活用の種類＝ラ行変格活用（ラ変）／活用形＝未然形。「あり」の未然形「あら」＋接続助詞「ば」（未然形＋ば＝順接仮定条件「～ならば」）。
- 問13 四段活用（ハ行）・未然形。意志の助動詞「む」は未然形接続。
- 問14 品詞＝形容動詞／活用の種類＝ナリ活用。「あはれなり」の連体形「あはれなる」。
- 問15 四段活用（カ行）・連用形。過去の助動詞「けり」（ここでは連体形「ける」）は連用形接続。
- 問16 上一段活用（マ行）・已然形。「見る」の已然形「見れ」＋接続助詞「ど」（已然形＋ど＝逆接確定条件）。
- 問17 下二段活用（ラ行）・終止形。「萎る（しをる）」は下二段で、言い切りの終止形。
- 問18 品詞＝動詞／活用の種類＝ナ行変格活用（ナ変）／活用形＝連体形。「死ぬ」はナ変。連体形「死ぬる」が体言「こと」を修飾している。
- 問19 品詞＝形容詞／活用の種類＝シク活用／活用形＝終止形。「悲し（かなし）」はシク活用で、言い切りの終止形。

問20 品詞＝形容動詞／活用の種類＝タリ活用／活用形＝連体形。「堂々たり」の連体形「堂々たる」が体言「姿」を修飾している。

問21 四段活用（ウ行）・終止形。「乗る」は四段で、言い切りの終止形。

問22 四段活用（ハ行）・連用形。連用形「思ひ」＋接続助詞「て」。

問23 上一段活用（カ行）・連用形。「着る」の連用形「着」＋接続助詞「て」。

問24 下二段活用（ダ行）・終止形。「出づ（いづ）」は下二段で、言い切りの終止形。

問25 品詞＝形容動詞／活用の種類＝ナリ活用／活用形＝已然形。「清らかなり」の已然形「清らかなれ」＋「ば」で順接確定条件。

問26 「賢く」＝形容詞・ク活用／「賢く」の終止形（基本形）＝賢し（かしこし）／⑭「寒けれ」の終止形（基本形）＝寒し（さむし）。

問27 ①「吹け」→吹く／④「聞こゆ」→聞こゆ／⑫「出づ」→出づ。

問28 ⑤「谷 深ければ」＝谷が深いので。／⑥「命 あらば」＝命があるならば（生きていたならば）。

問29 「来」＝カ行変格活用（カ変）／「死ぬ」＝ナ行変格活用（ナ変）。カ変はカ行で活用するのに対し、ナ変はナ行で活用する点異なる（活用する行が違う）。
